



part3 北欧の福祉施設の視察を終えて...

夏休みが終わり、「やっと学校が始まった～」と保護者の方からのホッとしたお声を聞きました。子どもたちはこの夏休みにまた、大きく成長しています。家庭での時間が長かった分、ふと気がつく子どもの世界が広がっていたりします。そんな姿を保護者のみなさんと共有したいと思います。さて、1ヶ月空きましたが報告第3弾、重度障害者用グループホームの報告です。

視察をしたのは、「オスカリンピスト住宅」です。まずは概要から。「知的障害者支援 57(知的障害者親の会)」が運営しています。ヘルシンキ市が土地を提供し、「親の会」がスロットマシン協会から補助金を受け、福祉専門のローン会社から借り入れして、20年前に建設されたそうです。建物の隣には知的障害者のデイセンターが併設されています。

住宅は1つのユニットに5人、それが3つあり15人が暮らしています。職員は12人で24時間体制になっています。(この12人は5人に対してなのか、15人に対してなのか、聞いておらずわかりません。)昼間は5人ユニットのところに職員が3名、夜になると4名になり、週末はもう少しいます。

職員は24時間体制で必要な時は外部から「ガイドヘルパー」の依頼も可能です。職員の人数は生活する人の必要性に応じてヘルシンキ市からの予算で成り立っています。食事は昼と夜のメイン料理は隣のデイサービスの給食センターから運ばれてきて、副菜と朝食、おやつを作っています。基本、1日5食です。オスカリンピストでは食堂や居間は別になっており、広〜いリビングで仲間や世話人と食事をしたり、テラスでゆったりくつろぐこともあるそうです。

まず初めに見学した場所は地下にあるイェンモ二所長の部屋。奥には広いシアターがあり、みんなでリラックスしたり映画を見たり、スヌーズレンルームにもなるそうです。そしてその奥にはサウナが！スウェーデンではサウナは欠かせないそうです！

所長室を出て廊下を奥に歩いていくとなんと、シェルターがありました。フィンランドは過去にスウェーデンやロシアに支配されてきた時代があったからでしょう。特に核やミサイルに対してのシェルターが公共の建物には必ず備えつけられているそうです。

シェルターの中には3日間の食料、ドライフルーツにおいては20日分、ガスのグリルもあります。火がなくても調理できる食材や、トイレのセットなどが常備されておりました。また、この備品を管理する会社があり、施設職員一人が備蓄の担当とその管理会社と一緒に在庫を管理しています。

日本では令和6年までに災害時にどうやって業務を継続するのか、BCP(事業継続計画)の作成を放課後等デイサービスにも義務付けました。しかし、その作成が厚労省からのひな型にあてはめていくだけで中身がともなっているかわかりません。その上、避難期間中の食料や備蓄、資材等はどこまで何を準備するのか不安もあります。その不安は、各事業所によって子ども達の避難生活に関わってきます。もちろん、事業所のある場所によって備蓄等も変わってくると思いますが…。

Angeでは毎年1月に「防災カフェ」と称して、保護者の皆さんとAngeのBCPや避難生活について研修をしています。発災時にAngeは子ども達をどう守るのか？一緒に考えてみませんか？このグループホーム報告の続きは来月に。

郡 奈美

研修実施予定！申し込み受付中！

Angeの実践をふまえながらお話し頂きます。保護者限定オンデマンド配信もあり！

1回目に参加出来なかった人も是非！

10/17(火) 自閉スペクトラム症の心の理解と支援 part.2

講師：別府 哲氏
 (岐阜大学教育学部教授)

↓申し込みQR↓



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所: Ange(服部) 又は zoom ■時間: AM10:00 ~ ■参加費: Ange保護者500円・外部の方1000円/1名
 ■申し込み・お問合せ: Tel(06) 6151-2996 Mail: kitamura@tokuyo.me 担当: 北村



今年は昨年引き続き子どもたちがよく遊びに行っているにわたり公園で夏祭り。今年には、Angeに通う子のご家族に加え、公園の近くにある保育園の子どもたちにも声をかけ、地域交流を行いました。メインイベントは「となりの人間国宝さん」に認定されたこともある、しゃぼたあわおさんによるシャボン玉パフォーマンスです。しゃぼたさん特製のシャボン液と道具を使い、空に向かってたくさんのシャボン玉が上がると子どもたちから「わあ!」「と歓声が。空中を漂うシャボン玉をじーっと見つめる子もいれば、両手を高く上げ大きなシャボン玉に手を伸ばす子、シャボン玉を追いかけるとなど思い思いに過ごし、公園には終始楽しそうな声が響いていました。また、屋台の店番のボランティアとして、Ange職員の子どもやその友達、Angeに通う子の兄弟がお手伝いしてくれました。昨年に引き続き手伝ってくれた子もいて、夏休みという子どもたちにとって貴重な時間にAngeの活動に快く参加してくれた皆さんに心から感謝しています。そして、この夏まつりが皆さんの楽しい夏の思い出の一つになっていたらうれしいです。